



# ドコモ市民活動団体助成事業 中間報告会

NPO法人三段峡—太田川流域研究会

# 自己紹介：本宮 炎（ほんぐうほのお）



## 本宮 炎      Hongu Honoo

NPO法人三段峡一太田川流域研究会 理事長

1976年 生まれ。

2008年、岐阜県土岐市から

広島県山県郡安芸太田町に妻と子供2人で移住。

2013年 安芸太田町観光協会理事

2015年 三段峡憲章WG座長

2016年 三段峡一太田川流域研究会理事長

2022年 ネイチャーツアー事業「Drops」開始

陶芸家で主に茶器を製造している。三段峡の水墨画のような景観とループで見る隠花の世界がすき。子ども達に地域の自然や歴史文化を伝える事を大切にする。組織運営と教育プログラム開発を担当している。口ぐせは「一緒に三段峡を歩きましょう！！」



# 特別名勝の溪谷



特別名勝とは、景観の国宝と言われ、文化財保護法で指定される  
⇒日本でもっとも権威があるランキング

- 特別名勝溪谷は全国で6つ
  - 最高のロケーションで体験学習
  - ドコモさんの協力で峡内ドコモ回線使用可能
- 日本全国に名勝は約400件、特別名勝はわずか36件
  - 自然的特別名勝は12か所でその半数は溪谷が指定されている。
  - 日本に溪谷は600以上（溪谷の国）
  - 中国・四国・九州では三段峡が唯一の特別名勝溪谷



# 事業概要：高校生・大学生による生態調査からエコツアー



フィールドの調査・研究



環境教育・エコツアー  
環境保全活動  
論文等の学術的貢献



# 解決したい課題：フィールドワーカーの後継者不足



「わしらが絶滅危惧種じゃ」

上野吉雄  
認定NPO法人西中国山地自然史研究会理事長  
野生生物保護功労者表彰  
広島県レッドデータブック調査委員



地域の自然をみまもり、行動する人材の不足



# シームレスに自然にかかわり人材を育成する



課題：自然体験・環境教育が非日常的



(仮説) 人生を通じて環境に関わる「日常化」

①環境教育の参加者から講師へ  
ステップアップ

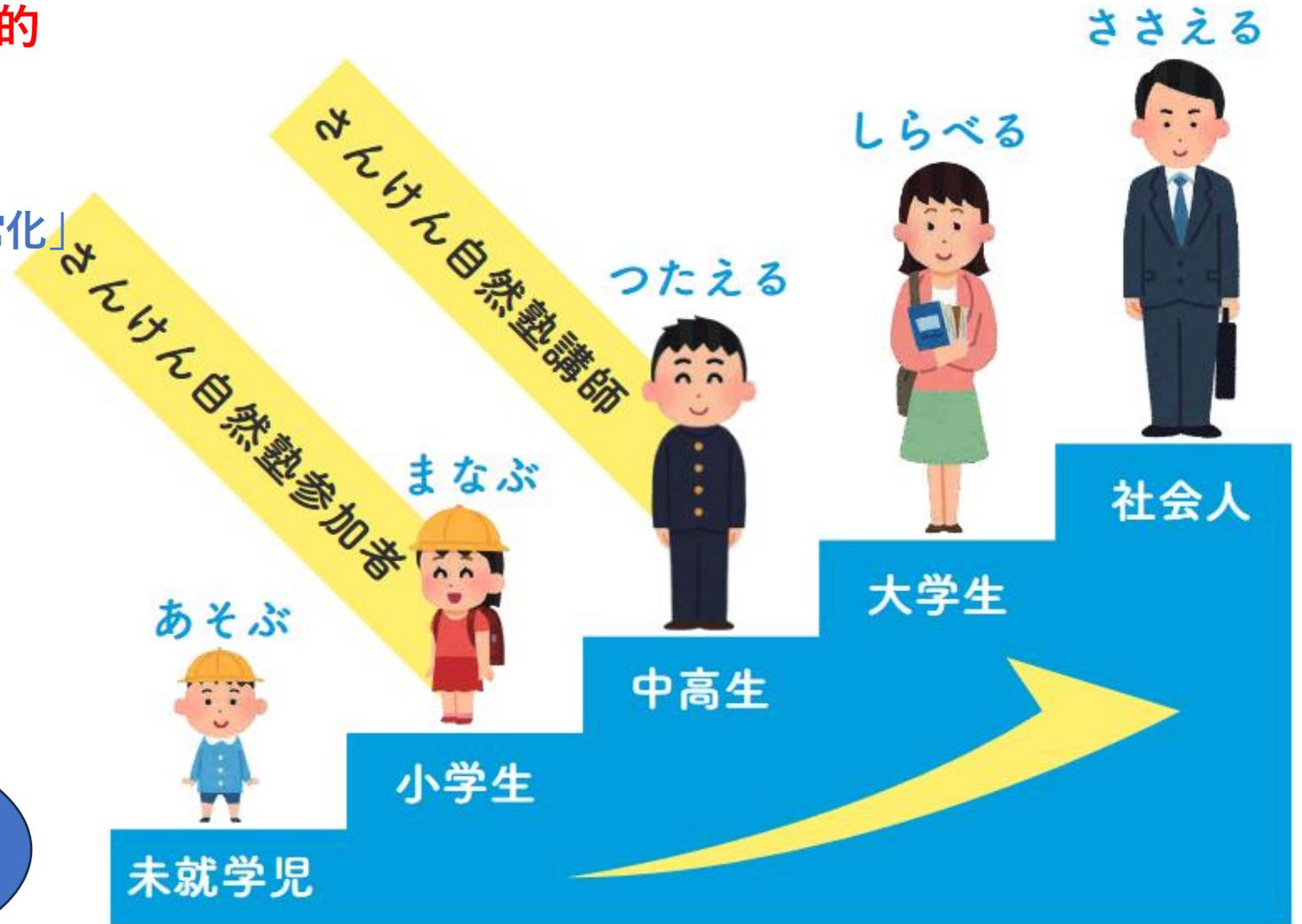


②エコツアーの実践者として  
仕事としての環境活動の体験



ツアー収益で  
持続化を目指す

ドコモ市民  
活動団体助  
成事業



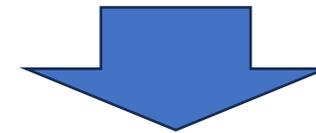
# 現在の様子



日時：2月16日  
場所：三段峡長淵  
参加者：高校生・大学生5人 さんけん2人  
目的：オオサンショウウオの幼生の調査

2月から3月のオオサンショウウオの幼生の巣立ちを、河川に溜まった落ち葉から探す。

雪の残る川での調査で、楽しいながらもつらさもある。



来年度のツアー実施にむけてプログラムでづくり

※他市町の山村留学の高校生の参画希望も

# 春からの計画



## 植物観察入門ツアー

：植物の観察方法を学びながらフィールドを歩く  
大学生中心で企画

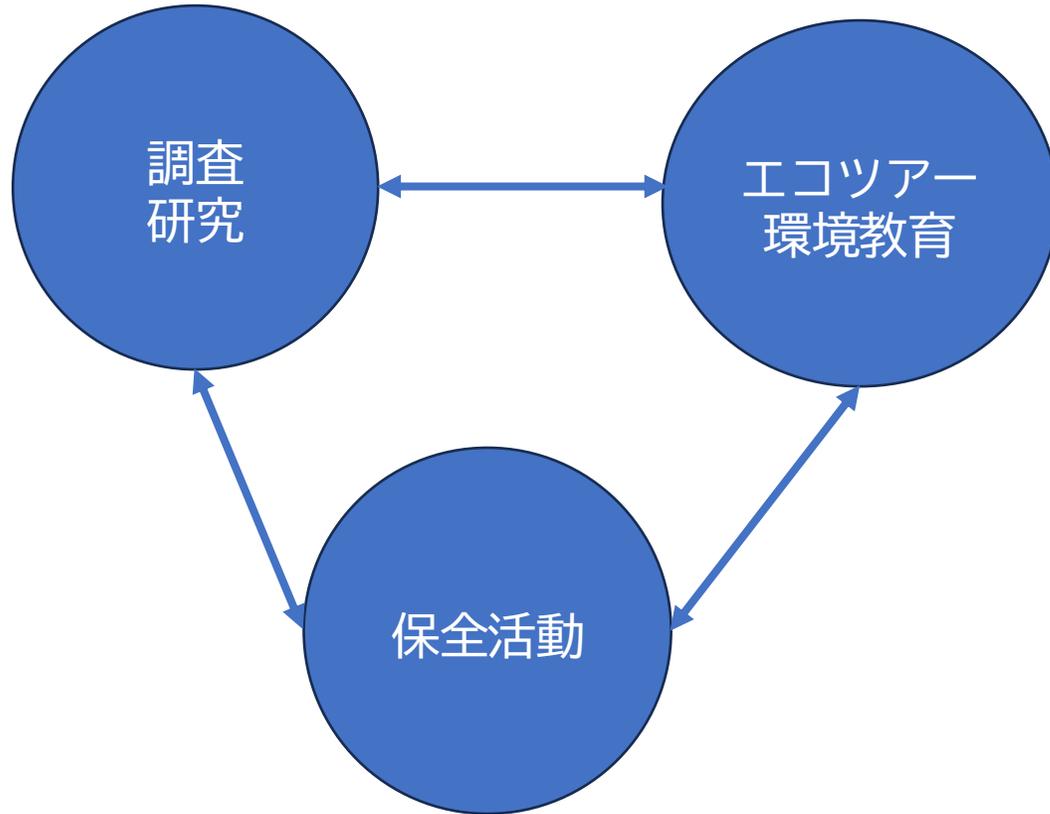


## 河川の生態調査ツアー

：河川の生き物調査を体験しながら川で遊ぶ  
地元高校生・大学生で企画



# 作り上げたい仕組み



## 困難だった点

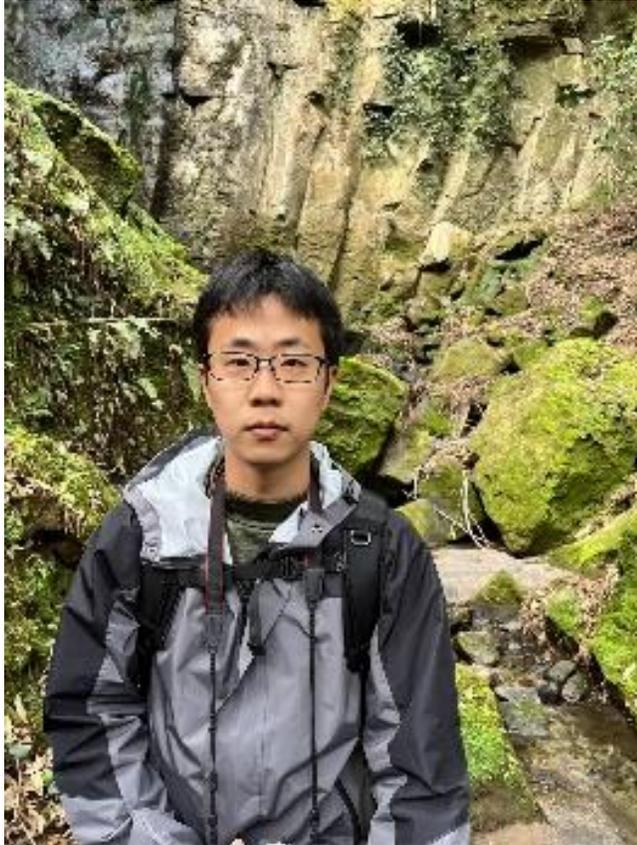
- 取組の成果が一直線ではなく、結果が見えにくい
- 学生の多忙による優先順位の低さ
- 学生スタッフ内のコミュニケーション（中学生・高校生）
- 育成コストと参加費のアンバランス

## 次の目標：

- 専門的調査技術の獲得
- 調査研究のアーカイブ⇒論文等の作成
- 保全活動へのフィードバック



# 取組の成果として



氏名：大崎壮巳（おおさき そうし）

進路：日本学術振興会特別研究員・早稲田大学次席研究員

さんけんでの主な活動：2019年の広島大学地域の元気応援プロジェクトをきっかけとして、三段峡での活動に参加。インバウンド向けパンフレットの作成やビジターセンターLoupeの設立に関わった。また、2022年からはさんけんの理事に就任。**広大さんけん部の設立に尽力**した。三段峡でのトチ餅の継承に向けて活動中。

さんけんで得た学びや経験：さんけんでは、分野に捉われることなく新たな知識を得る機会が多く、**フィールドワークや外部資金獲得といった経験**も多く積むことができました。また、**環境教育やビジターセンターの設立**といったアウトリーチ活動ではスキルアップのみならず、年齢や所属を問わず多くの方々と交流し、人脈を広げることができました。さらには、理事として参画させて頂いたことで、**組織運営のノウハウ**についても学ぶことができました。これらの活動を通して、今後研究者として活動していく中で、**どのように社会に貢献するのかをしっかりと意識できるようになりました**。そして、将来的に学生を指導する立場になったとき、さんけんで得た学びは必ず生きてくると思っています。

